

大四日市まつりなどのあり方を考える市民会議④－２(花火大会)議事録

日 時 : 平成１６年８月２１日(土) １５時５０分～１６時５０分

場 所 : じばさん三重 ５階 情報交換室

出席者 : 委員 別紙出席表のとおり

事務局 商工課 平林課長、永田副参事、駒田勤労観光係長、中本主幹、待井技師

<事務局から資料説明>

- 平成１４年度第１７回四日市花火大会事業実施報告書。
- 四日市花火大会決算額等の推移。
- 煙火価格
- 四日市花火大会の会場アクセス
- 各地の花火大会アンケート結果
- 花火大会に対する市民意見(パブリックコメント)
- おじやまつりパンフレット紹介(新潟県小千谷市)
- 第１７回四日市花火大会パンフレット紹介

１．四日市花火大会の運営について

<各委員意見交換>

- 来年度、四日市花火大会を再開すべきと考える。四日市花火大会の招待席は多すぎるのではないかと。協賛企業への招待券の配付はやめて、替わりに有料観覧席として販売すべきである。
- 運営面の大きな課題は、協賛金をどのように集めるか。交通アクセス。ゴミ問題である。
- おじやまつりのパンフレットには、各企業の協賛額が明らかになっているが、四日市の場合も協賛額をパンフレットに明記すべきではないか。
- 初回到企業にヒアリングした際、協賛額は明らかにしてほしいとの声があったことから表記しておらず、そのことが続いているだけである。
- おじやまつりのパンフレットを見ていると、協賛がかなり市民レベルに浸透しているように思える(市民団体や学校の同窓会等まで)。
- 企業が出しやすいアプローチが必要ではないか。四日市のパンフレットを見ても企業が出しやすい環境作りに努めているようには思えない(おじやまつりのパンフレットには協賛金をだしていただきたいという気持ちが感じられる)。
- 協賛については、いかに市民参加型の協賛をすすめるかが課題であろう(初盆送り、結婚祝い、婚約祝い等)。また協賛者には招待券は出すべきと考える。
- 三交バスの利用者が減った理由は分析しているか。
- 平成１３年に明石市で事故が発生した後、警察から指導があり、観客席に近かった富双埠頭内からジャスコ北店東側県道にバスの発着場を移動させたため、少し遠くなってしまったことが原因と考えている。なお、ジャスコ北店東側県道については、平成１４年当時と状況が変わっており、周辺で住宅開発が行われる等、全面的に交通規制を行うことが厳しくなっている。
- 臨時バスに頼らない検討もありうる。
- 富双埠頭に渡る国道２３号の歩道が完成するのはいつになるか。
- １７年度末(平成１８年３月)に完成予定である。
- ゴミ問題も重要な課題である。
- ゴミ箱を置かず、来場者に持って帰ってもらうようにしてはどうか。
- 平成１１年当時、市の環境部からゴミの持ち帰りの提案があったが、果たしてうまくいくかわからず実施に踏み切れなかった。

- パンフレットへの協賛額の表記は支障が出ると思う。
- 観客動員数の捉え方は大雑把すぎるのではないか。
- 実際、富双埠頭と霞ヶ浦埠頭に来場している観客は数万人と考えているが、垂坂公園や旧四日市港（千歳地区）等、市内の様々な場所で見ている方も含めての捉え方であることをご理解いただきたい。
- 市街地で行われている隅田川の花火等は、決して大きな打ち上げ花火を行っているわけではない。小さな号数の花火であるにもかかわらず、演出のうまさ（音響花火やスターマインの連発打ち上げ等）によって日本を代表する花火大会として定着している。四日市花火大会も演出をうまくすべきである。
- 次回については、ゴミ問題とアクセスの課題について議論を行うことといたしたい。

<まとめ>

四日市花火大会の運営について

- ・ パンフレットの表記について、協賛金を出しやすい工夫を検討する。
- ・ 市民レベルに協賛を浸透する仕組み（初盆、結婚祝等）を検討する。
- ・ 花火の打ち上げの演出（音響花火やスターマインの連発打ち上げ等）を検討する。